

JAPS ニュース 第16号

日本建築写真家協会 JAPAN ARCHITECTURAL PHOTOGRAPHERS SOCIETY 会報
 〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-6-7 MARUZENビル1F (有)東京カラー工芸社内
 TEL 03-5459-0160 FAX 03-3462-1511 E-mail japs@tcklab.co.jp http://www.japs.jp/

東日本大震災から一年

会長 小川泰祐

未曾有の大惨事、東日本大震災から一年が過ぎました。被災地の写真を見るたびに心が痛みます。一年を期しての写真展が全国で展開されています。その会場では思わず目頭が潤みます。もどかしさも感じます。

私事ですが、2011年6月8日、盛岡在住の建築家に同行させて頂き、被災地に入りました。海岸から離れた遠野市の一角には自衛隊の救援基地が出来ていました。道すがら、歩行者の老人は自衛隊の車列一台一台に頭を下げていました。釜石市、大槌町、山田町、宮古市と海岸線を北上しました。どの街も、以前訪れた時と同じ澄み切った青空と蒼い海が広がっていました。山々の新緑は輝いていました。しかし、目を転じるとそこには別世界が。ガレキの山、基礎のみを残した建物跡、どの街も人の気配のない不気味な空間が続いていました。遠くにブルドーザーの音が響いていました。復興への槌音なので

しょうか。3ヶ月を過ぎたこの日、4×5カメラを積んでいましたが、想像を絶する惨状を前に三脚を立てられませんでした。

この一年間、震災チャリティー写真展に出展はしましたが、被災地、被災者の為に写真家として何か出来なかったのかと自問自答し、落ち込んでいます。メディアに掲載され、TVで放映されている震災関連の写真を見るにつけ、報道写真家の勇気と彼らの意識には頭が下がります。逆に建築写真家の請負姿勢の甘さに気付かされました。今後は建築のジャンルに留まらず、広く社会に目を向け、広い視野に立って活動を続けなければならないと強く感じました。

会員の情報、ご意見など役員会にお寄せください。この厳しい時代の日本建築写真家協会の活動の糧にしてください。宜しくお願い致します。

日本建築写真家協会展 報告

「光と空間」－ 建築の美 － Part IX 新潟展

併設企画 山本理顕氏・講演会 「地域社会圏という考え方」

隔年に開催されている日本建築写真家協会・写真展の新潟展が、佐武浩一会員(新潟在住)の尽力により昨年12月に開催されました。写真展会場は新潟市美術館・市民ギャラリーで、会期中には200名の入場者がありました。

また、今回は写真展オープニング初日にあわせ、山本理顕設計工場の山本理顕先生の講演会「地域社会圏という考え方」が催されました。講演会場の新潟市万代市民会館多目的ホールには、地元の設計事務所や建設会社、建築系学校の学生をはじめ、一般市民を含め、こちらも200名の参加者で会場が埋め尽くされ、無事終了致しました。

記・写真：小野吉彦



写真展会場



左：講演会場
右：山本理顕氏



左：司会進行の佐武会員
中：JAPS を紹介する小川会長
右：スライドを交え講演する山本氏

4会場巡回 すべて終了 / 入場者数

東京展	2011 年 6 月 10 日 (金) ~ 6 月 16 日 (木)	5,778 名
大阪展	2011 年 7 月 8 日 (金) ~ 7 月 14 日 (木)	2,882 名
福岡展	2011 年 7 月 29 日 (金) ~ 8 月 4 日 (木)	約 410 名 (カウンターなし・目測)
新潟展	2011 年 12 月 9 日 (金) ~ 12 月 15 日 (木)	200 名 (新潟写真展実行委員会)
新潟講演会	2011 年 12 月 9 日 (金) 18:30~20:30	200 名 (新潟写真展実行委員会)

第 9 回 日本建築写真家協会 2012 年 総会・懇親会 のお知らせ

2012 年 6 月 22 日(金) 18:00~20:00

会場 ホテル JAL シティ四谷 東京 東京都新宿区四谷 3-14-1 TEL 03-5360-2580

★当日参加者には、JAPS 10 周年記念出版の写真集をお持ち帰りいただきます。

会員だより (107~116)

～ 会員の皆さんからの近況報告 ～

小室 貴義(東京都豊島区) 「イタ過ぎる負傷」

-----107

年明けして間もないとある日曜日、趣味で続けているサッカーの試合中に右足の脛脛を肉離れしてしまいました。

普通に歩けるようになるまで 7 週間もの時間を要しましたが、その間医師からは絶対安静を余儀なくされ、仕事にも普段の生活にもかなりの影響がありました。

特に移動する際は、普段の三分の一程度の遅さでしか移動でき

なかった程です。

我々写真家にとって歩けないというのは致命傷であり、日々の体調管理がどれほど大切であるかを今回の怪我で改めて感じました。

長い冬休みを過ごした分必死になって働かないと、夏に予定しているヨーロッパ旅行が行けなくなりそうです。

田岡 信禧（愛知県名古屋市）建築写真家は建築業界の人間か・・・ -----108

私は建築写真家になる以前は大手ハウスメーカーで現場監督や地方の工務店で建築デザインや建築プロデュース、企画広報の業務を手掛けてきました。その為か、現在の業界がどのような状況であるかは理解しているつもりです。

昨今の不況による建築業界への足並みはどこも厳しさを増すばかりで、建築業界自体が保守的観点や革新的観点を模索している事が建築写真の撮影をするにあたりよく伝わってきます。

私自身は建築写真家である事を今ひとつ建築業界の人間である観点で業務に取り組んでいます。すなわち、建築写真を建築プロデュースの観点で使い、そこに更なる価値あるものとしてクライアント様にサービスを提供できるよう努めています。そのため、私は建築作品を撮影したのち、写真の納品だけでなく、フォトブックから、個別のオリジナルWEBギャラリーの無償提供サービス、FaceBookでの活用講習や制作業務等、クライ

アント様の建築プロデュースに少しでもお役にたてるような業務にも力を入れています。

写真家業と言えば、一般的に広告関係や、芸術家的な立ち位置での職業意識が高いと思われそうですが、私個人にとっての意識はあくまで建築業界の人間である事を強く持ち、更にはそれら建築業界の方々に建築写真の撮影の枠を超えたサービスの提供ができる事を今後も取り組んでいきたいと考えています。

また、昨年から、建築写真を活用した集客セミナー等をいくつかの一部上場企業様からの依頼で全国各地で行っています。それらは想像以上に好評で今後も益々、依頼が増えて来る事と実感しています。

本年度もより多くの建築写真による素晴らしい建築プロデュースが業界に認知されるよう鋭意努力していきたいと思えます。

丸山 泰（東京都中野区） -----109

去年より世話会会の末席に名を連ね、会議にも出席するようになった。建築写真家協会の諸先輩方の写真に対する考えを聞かせていただく機会が増え勉強になっている。

昨年9月のUIA東京大会に併せて開催される予定だった、日本建築写真家協会設立10周年企画写真展が、震災の影響による諸事情で中止となったが、提出していただいた会員のみなさんの作品で、10周年記念写真集を作製することになり、現在編集作業中である。

「日本・風土と建築」という広いテーマでの1枚なので、いろいろな表現の写真があり興味深い。当たり前だが、ストーリーで見せられる組写真に比べて、1枚で強いインパクトを残さねばならない単写真は、大変難しい。

誰が見ても、いい写真だと思えるような、1枚で訴えかけてくるドラマのある写真を撮れるよう、私も常日頃から心がけている。

狩野 正和（東京都東久留米市）定年 -----110

趣味を仕事にしたので趣味がありません。定年が無いのでよいですねと、いわれたこともありましたが、僕には定年がありました。うっかり気がつかないだけです。

お散歩、映画、たまに旅行と時間をつぶすのが大変です。厄介なことに、出かけるときは必ずカメラを持っていきます。体力無いから小さくて、良く写るカメラが欲しい、ミラーレスが良い、レンズもあれこれ必要だ、妻はカメラに興味ないのでそこらにおいといても気がつかない。先日、気分を変えようと濃

いブルーのコンデジを買って置いといたら、またカメラ買ったのと言われ、仕事も無いのにロケハンに便利なのだと言いつける。色には気をつけよう。しかし、ありがたいことに時々撮影の依頼が来る。

静止画のつもりが動画もお願いします、写真は360度パノラマでと、ややこしい。変われば変わったものです。それでもデジタルは面白い。ようやく趣味ができたようです。

鳥居 茂（千葉県千葉市） -----111

昨秋、ビニール袋を抱えた青年が事務所を訪れました。それはそれは大事そうに、水平の位置を保ったままの格好でした。彼は、先の大震災で被災した石巻にボランティア活動をしている、とのことです。この機会に退職をしたともあとから聞きました。活動中に塩水に浸かったアルバムを見つけ、状態が良くないと判断して、水平位置をキープして、自分の軽自動車に積んでいたそうです。

富士フィルムが窓口になっている「写真救済プロジェクト・写真洗浄方法」相談窓口、弊社が登録していることや住いも近くとあって帰郷の際に持ち込んでくれました。

最初の状態を撮影し、ゆっくりはがし、ぬるま湯につけて指で洗浄し、乾燥→複写→新規に銀塩プリント→新しいアルバムに元通りに貼る→完成、500枚程のプリントでした。この手順に3日を要しました。ベース面の上で今にも流れ出そうな像を食い止めるのが、



結構大変でした。

2冊のアルバムとCDを持ち帰った彼は、待っていたのかのようにその夜にまた石巻のボランティアセンターに戻って行きました。ボランティアとはいえ軽自動車に寝泊まりし、食事何も何もすべて自前。

数日後電話があり、持ち主を避難所向けの伝言板で探し当て、青森に避難しているそうで、全員無事とのこと。親戚を通じて渡してくれることになりました。ホッと胸をなでおろしました。4月から東京で再就職が決まっているエンジニアの彼。それまでは頑張ります、と笑いながら言っていたのがとても爽やかでした。

何もできないもどかしさを感じていましたが、少しだけお役に立てたかな、と思わせる3日間でした。

編集部注：ご提供いただいた写真は、画像の消えた部分(白色)が大きかったため、トリミングさせていただきました。

津布久 智（東京都狛江市）

112

近頃、興味を持ってしていることは、モノクロプリントです。写真学校に行ったことがないので、引伸機を買わされて、やらなければならないようなことはありませんでしたが、写真を始めた頃から国内や海外の写真家の作品を見るのが好きで、写真集もよく買っていましたし、写真展にもよく行きましたし今でも行きます。そのほとんどの作品は、モノクロでした。



4年位前に著名な(?)写真家や評論家たちが都写美で、2週間に一度講評と講義をするというワークショップに参加しました。そこで、講評してもらうための作品作りを通して自分で作るプリントに強く惹かれました。35mm

で撮影して現像プリントをするようなことが増えました。昨年、引越したときに暗室も作りました。

5月に以前から行ってみたかったリスボンに行き、一週間だけでしたが、レッスンみたいな写真を撮ろうと粋がって、歩き回って撮ってきたものを少しずつ写真にしています。

われながら、なかなかいいなあなんてながめています。これからも旅と写真作りをやっていこうと思います。



鈴木 喜一（東京都中央区）カメラとゴルフ

113

ゴルフ歴40余年、シングルになるのは程遠く夢で終わってしまった。お金も時間もなかったから…。何よりプレーを楽しんでいたから、と納得している。

写真歴はゴルフより長くなるが、何となく同じような道を歩んで来たように思う。原稿の依頼を機会に無理に共通点を考えた。先ず共に個人プレーと言う事だ。これは私の性格に合っている。ゴルフは練習量とラウンド数をこなす事、建築写真なら多くの建物を撮り続けなければ上達しない。スポーツと同じだ。

ゴルフクラブも軽くなり打ちやすくなった。デジカメになってシャッターを切るのが楽になった。共に体力の減退をカバ

ーしてくれる。撮影の後処理は社員にお願いしているの、納得できない時もある。パソコンを覚える気がないのだから文句も言えない。

練習場に行くと老体も結構動くように、どんな撮影現場でもこまめに動かし意欲も湧く。現場を大切にしたい。

ゴルフはシングルになれず、写真は1人では完成できず、シングルを通せなくなった。

「異国の瞳」をテーマに外国の人々を撮り続けたい。パソコンに頼らずに。

横山 仁志（宮城県仙台市）2011.3.11 東日本大震災 ー東北地方太平洋沖地震ー

謹んでお見舞い申し上げます 114

3.11、大地が唸り、海があふれ、炎が吹き上がる、僕らは為す術もなくうずくまるしかなかった。

車中のTVでは仙台空港が海になっている、外は吹雪、街灯も窓の灯りも信号機すら灯っていない、ようやく帰宅しラジオに耳を傾ける。とある場所、僕の自宅から車で数十分の位置に数十の遺体が、数分後には数百まではね上がっていた。

夜は暗闇、日中は水、食べ物、燃料を求めて人々が動き回る。水が貴重なのでトイレもままならない。人々は小学校のプールから水を汲んでいた。何が起きたのだろうか、僕の知り合いが

独り言のようにつぶやいていた。

「自然淘汰なのかな」あまりに沢山の人が逝ってしまった。そんな日々が続いたがみんなには笑顔もあった、あんなに家族や恋人、友人、隣人と密に過ごした時間があっただろうか、これが「絆」なのでしょう。

現在、Facebookなども用いながら新たなマーケティングの場や新たな繋がりをひろげながら日々精進しております、「絆」「感謝」を胸に。

川辺 明伸（東京都港区）

115

2月22日つくばの国土技術政策総合研究所内で実大火災実験が行われた。

校舎は50m×16mの3階建てで大きなものだ。そのまま使用出来るくらいのクオリティーで建てられている。(実験だから当たり前か)今回、世界的にみても最大規模の火災実験にスチール班で参加する事が出来た。

実験開始の時間が迫り、合図と共に出火源に点火された。最初のうちは記録写真なのである程度冷静にシャッターを切るも、火の勢いと共にアドレナリンが放出され、もっと近づきたい想いと輻射熱の熱さとの戦いである。校舎から15m離れた場所の草やカラーコーンが燃えてしまう熱さである。これはたまらない。まともに顔を向けることが出来ないのだ。服を何枚も重ねていても熱くて焼けそうになる。

とにかく走って走って撮り続ける。(熱くて止まっていられない)熱くて火の粉をかぶっても、延焼防止の水を浴びながら走って撮る。

点火から1時間あまりが過ぎた頃、校舎の一部が崩落し始めた。地元の消防隊員が「危ないから下がってください」と言っても下がりにくい。理性は…、ない。優秀なアシスタントの子に「燃えちゃう！」と服を引っ張られながら下がるとようやく理性が戻ってきた。危ないところだった。2時間位で校舎は全て崩壊し実験終了。なかば放心状態でガラスに映った顔を見ると真っ赤に焼けていた。トイレに行こうと思いトイレを探すが仮設トイレはドロドロに溶けてスライムになっている。輻射熱恐るべし。今回は校舎が完成間近の状態からの参加でしたが、とても貴重な体験が出来ました。

松尾 昭秀 (神奈川県藤沢市)

116

近年工事途中で廃止表明がされたり、はたまた再工事?とかめまぐるしい醜態のどこかの国ですが…。都市に限らず各地の変貌には列挙にいとまがない程です。個人の庭なら論外ですが、先の大震災の折に経験した「計画停電」と称する実態においては、その国の都市計画・国家計画なるものがいかに貧困に満ち満ちて低レベルであった状態…その無責任さの垂れ流しだった様子に嘔然とさせられた事でした (マスコミも含め)。

過去において、バブル崩壊、〇〇革命、リーマンショック等数々の嵐が吹き荒れ経済界でも外的要因を強調し叫ばれています。しかしそうなのでしょうか。住民主体にもとずいた計画や方針そしてしかるべき国家方針があったならば、百年の大局に沿った配慮が成されるのではないのでしょうか。かつて十数年前自転車でライ川を源流からローレライの岩付近までトレースした事を思い

出します。大自然と人々が程よく融合しあった環境の素晴らしさは今でも目を閉じると脳裏によみがえってきます。不用意な橋や人工物が見られないのです。「ラインの滝」下流域では、渡しのフェリーボート (近代船) が観光客や物流を担っています。どこかの国ならば安易な利権橋梁を渡し、山を削り緑を破壊する様が目につかびます。あの四万十川のように本来の姿が残っていました。現在でも変わらない美しさにほっとします。一時の利権主義の繰り返しでは悲しい。かけがえのない環境保全は、地産地消を基点とし子孫孫へ継承したいものです。以前の建築撮影時には、指定事項がない限り本体主義 (パース的) であった私も近年は邪魔物を必要以上に排除しない心掛けをしています。何故ならばそれがこの国の現状なのだから…。

●日本建築写真家協会 世話人会報告 (59~65) ●

代表: 高井 潔

会長: 小川泰祐

副会長: 堀内広治

総務: 篠澤 裕・木寺安彦・山崎望輝・丸山 泰

会計: 三輪晃士・上岡弘和

事業: 平井広行・山田新治郎・西出貴文

広報: 小野吉彦・渡辺重任・津布久智

仙台: 横山博志 名古屋: 車田 保

大阪: 川元 斉 福岡: 山本伸生

●第59回 2011/10/14 カルフール貸会議室 18:00~20:00

(出席) 小川泰祐、小野吉彦、上岡弘和、篠澤 裕、津布久智、堀内広治、丸山 泰、山崎望輝、渡辺重任

○2012年度総会日決定。

○10周年記念行事、写真展の代わりに写真集を刊行する。写真出展者のみ掲載。追加購入は自己負担。中塚会員に協力を願う。規格、冊数、写真の順番等を検討する。

○関西委員会でもHPの原稿を依頼してもらう。

●第60回 2011/11/11 カルフール貸会議室 18:00~20:00

(出席) 小川泰祐、海老原一巳、小野吉彦、上岡弘和、篠澤 裕、中塚雅晴、西出貴文、丸山 泰、山田新治郎、渡辺重任

○10周年記念写真集、担当: 中塚、海老原、丸山、山田、渡辺。2012年3月末発行 (案)、オノウエ印刷に見積をもらう。300部印刷 (案)。原稿は1月に集める。2冊目以降希望者は実費。

○「光と空間IX」新鴻展、新幹線+宿泊で東京から世話人有志で行く。11/18までに参加表明。

●第61回 2011/12/16 カルフール貸会議室 18:00~20:00

(出席) 小川泰祐、海老原一巳、小野吉彦、上岡弘和、篠澤 裕、高井 潔、津布久智、中塚雅晴、西出貴文、堀内広治、丸山 泰、山崎望輝、渡辺重任

○10周年写真集、会員全員に1冊配布、2冊目以降は請求 (案)。制作費は JAPS 負担 (案)。鹿島出版会を通し書店 (八重洲ブックセンター、南洋堂 (神田) で陳列 (案)。12p 毎に色校が出る。色校の最終権限は JAPS。2012年6月総会までに完成させる。会員へのアナウンス事項決定。

●第62回 2012/01/27 カルフール貸会議室 18:00~20:00

(出席) 小川泰祐、海老原一巳、上岡弘和、篠澤 裕、高井 潔、西出貴文、丸山 泰、堀内広治、山田新治郎、

○10周年写真集、1,000冊でオノウエ印刷再見積。定価1,800円 (案)。販売収益は参加会員での分配が正しいが、少額なので個々の参加会員に承諾を得て JAPS での収益で処理したい

(案)。販売委託 (案) → 鹿島出版会、八重洲ブックセンター7店舗、南洋堂 (神田・建築書籍専門店)。インデックスの文字校正はメールで参加会員へ送信し、各自確認を願う。写真掲載の順番は2/3、上記の出席者で取り決める。

●第63回 2012/02/03 TCK・JAPS事務局 17:00~19:00

(出席) 小川泰祐、小野吉彦、篠澤 裕、中塚雅晴、平井広行、堀内広治、丸山 泰、山崎望輝、渡辺重任

○10周年写真集、発行を総会に間にあわせる。「JAPS編」とする。鹿島出版会/川尻氏を向かえ検討。鹿島出版会で見積を依頼。

●第64回 2012/02/17 カルフール貸会議室 18:00~20:00

(出席) 小川泰祐、海老原一巳、小野吉彦、上岡弘和、中塚雅晴、西出貴文、平井広行、堀内広治、山崎望輝、山田新治郎、川尻氏 (鹿島出版会)

○10周年写真集、鹿島出版会見積を600冊で本紙校正とデジコン校正で2パターン受理。1,000冊で再見積依頼。出版は JAPS、発売は鹿島出版会とする。写真ページは「写真」と「ページ」のみ掲載する。村田氏100冊購入予定。初期段階500冊を倉庫保管し、500冊を JAPS が受け取る (案)。総会出席者には手渡しする。その他は後日送付。関西は誰かに別途まとめて送付か検討。

○総会、2012年6月22日 (金) JAL シティ四谷 18時~20時。

●第65回 2012/03/09 カルフール貸会議室 18:00~20:00

(出席) 小川泰祐、海老原一巳、小野吉彦、川村剛弘、高井 潔、堀内広治、丸山 泰、三輪晃士、山崎望輝、山田新治郎、川尻氏 (鹿島出版会)

○10周年写真集、鹿島出版会1,000冊で見積受理。「銀座ジャック」写真はカバーのみ使用し薄く印刷。帯を付け (案) 検討。35ミリバーフォレーション風デザイン (案) 検討。2012年6月1日付発行。中のページはマット系紙。300冊を初期段階 JAPS 手元に受け取る (案)。

○「会員証」隔年発行を確認。

掲 示 板

最新情報はホームページをご覧ください。



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨

- 小野 吉彦 出版 ① 「お屋敷散歩」 文：内田青蔵 写真：小野吉彦
河出書房新社 刊 2011 年 11 月 30 日発行 1,700 円＋税
- 川村 剛弘 出版 ② 「房総と海と写真」 川村剛弘 写真集 新紀元社 刊
2012 年 2 月 2 日発行 2,000 円＋税
- 工藤 政志 写真展 ③ 「東京スカイツリー展 ～世界一への挑戦～」
2012 年 2 月 6 日～3 月 30 日 大林組 3 F ロビー (東京都港区) (終了)
- 工藤 政志 写真展 ④ 「東京スカイツリー建築写真展 世界一への挑戦」
2012 年 4 月 13 日～5 月 6 日 (11～19 時) TBS 赤坂サカス・赤坂ギャラリー
入場無料 (東京都港区)
- 高井 潔 TV出演 ⑤ 鑑賞マニュアル「美の壺 東北の古民家」 NHK BS プレミアム
2011 年 10 月 27 日 放送 (終了)
- 堀内 広治 出版 ⑥ 「SD 2011」 鹿島出版会 刊
2011 年 12 月 10 日発行 2,000 円 (税込)
- 堀内 広治 出版 ⑦ 「SDレビューの 30 年」 鹿島出版会 刊
2011 年 12 月 10 日発行 非売品 (但し南洋堂、八重洲ブックセンターにて購入可)
- 吉田 敬子 出版 ⑧ 「富岡製糸場事典」 写真：吉田敬子 上毛新聞社 シルクカントリー双書 刊
2011 年 11 月 15 日発行 1,500 円＋税
- 吉田 敬子 講演会 ⑨ シルクカントリー双書 発刊記念イベント「富岡製糸場 未来へ」
・スライド上映「写真集・富岡製糸場」の撮影に取り組んで 吉田敬子
・シンポジウム『富岡製糸場事典』の可能性 吉田敬子ほか
2012 年 2 月 11 日 上毛新聞社上毛ホール (群馬県前橋市) (終了)

連絡先等変更 住所・連絡先等変更がありましたら、必ず事務局にご連絡ください。

堀内 広治 (住所、TEL、FAX 変更)

事務局 TEL 03-5459-0160 FAX 03-3462-1511 E-mail japs@tcklab.co.jp